

はまぐみ小児療育センターだより

新潟県はまぐみ小児療育センター ☎951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5932番地 電話 (025) 266-0151

よろしくお願いいたします

新潟県はまぐみ小児療育センター

看護部長 梅澤 朋子

このたび、はまぐみ小児療育センターの看護部長を拝命いたしました、梅澤朋子です。よろしく願います。

私はこれまで、小児病棟、重症心身障害児病棟、救命救急センター、手術室などで勤務してまいりました。病院と福祉の機能を有する施設で勤務することは初めての経験であり、わからないことが多く、職員のみなさまにご迷惑をおかけしているのが現状であります。職員のみなさまから教えていただき、自らも学び、センターの役割に貢献できるように精進していききたいと思います。

着任後に「はまぐみ」という植物が存在することを知りました。「はまぐみ」は、海辺の砂地や潮風の吹く厳しい環境の中でも、しっかりと根を張り、四季を通じて生命力を輝かせ、春には小さくも香り高い花を咲かせ、秋には赤く甘酸っぱい実を結ぶ植物です。この「はまぐみ」の姿は、自らの力を信じ、少しずつ

成長し、花を咲かせ実りを迎える子どもたちの姿と重なります。そして、その成長を支えるのは、根を守る土や、やさしく包む風や雨のような、周囲の支えであり、私たち看護部は、その“支える存在”でありたいと願っております。

当センターは、看護師の他に医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、給食や福祉職などの専門職が集まり、チームで子どもたちを支えるために日々協働しております。多職種が力を合わせ、子どもたちの個性やペースを尊重する温かい雰囲気、このセンターの大きな魅力だと感じています。今後多職種カンファレンスや研修会などを通じて連携を深め、チーム全体で子どもたちの可能性を引き出す支援を行っていきたいと考えております。

私が大切にしたいのは、「小さな変化を見逃さないこと」です。昨日できなかったことが今日できた、少し表情が柔

らかくなった、そんな日々の小さな成長や変化と一緒に喜び合える関係を築き、子供たちが安心して過ごせる環境づくりと、一人一人の可能性を引き出す支援を大切にしていきたいと思っております。

また、看護スタッフ一人ひとりがやりがいと誇りを持って働ける職場づくりに力を注ぎ、仲間同士が支え合い、学び合い、成長し続けることで、その温かさや力強さが子どもたちやご家族に届くのではないかと考えております。

看護の質を高めるための研修や学びの機会を充実させ、互いの経験や知識を共有し合える文化を育む取り組みを行い、看護部スタッフ全員で力を合わせ、笑顔と温かさにあふれるセンターが継続できるように全力で取り組んでまいります。どうぞこれからもご理解とご協力をよろしく願います。



「ご寄贈」 ありがとうございました

当センターの2階に、「児童発達支援センター（通所）」があります。そこでは、未就学のお子さまと保護者の方が一緒に通い、「やってみよう」「たのしい」「できた」という気持ち育てながら、訓練や療育活動に取り組んでいる場所になります。昨年度末、無事に卒園を迎えた4名のご家族から、「バルボンさんのおでかけ（作とよたかずひこ・出版アリス館）」という大きな絵本をご寄贈いただきました。

大きなワニのバルボンさんは町の人たちとても仲良し。カバンを担いで、道行く人にあいさつしながらどこかに出かけるようです。いったいどこにいくのでしょうか？

とても楽しい絵本に、在園児は釘付けでした。素敵な絵本をご寄贈いただき、ありがとうございました。



ボランティアの皆様、 いつもありがとうございます。

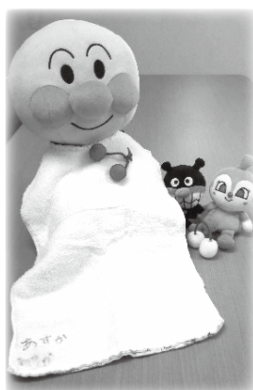
当センターでは、利用者みなさまが日常的に使用するエプロンなどの布製品の作製を地域の裁縫ボランティアの方々に協力いただいています。ハンドメイドのぬくもりのある品々は、日々の生活を支える大切な備品として活用されており、センター運営に欠かせない存在となっています。これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

現在は、レクリエーション支援や行事運営において、利用者みなさまの余暇を豊かにする活動にご協力いただけるボランティアの方を募集しています。例えば、季節の行事に合わせた小さな公演や演奏、絵本の読み聞かせ、簡単な遊びやふれあいの時間など、利用者みなさまが楽しめる関わりは多岐にわたります。

日々の生活の中に「いつもと少し違う時間」が生まれることは、利用者みなさまにとって大きな喜びや刺激となることと思います。活動内容は、ボランティアの方の得意なことやご希望を伺いながら、各部門の状況に合わせて調整していきます。また、活動にあたっては、事前に内容の確認やマッチングを行い、安心

して参加いただけるよう配慮いたします。

利用者みなさまの穏やかな日々に寄り添い、楽しいひとときをとものに過ごしてくださる方からのご協力をお待ちしております。活動を希望される方は、療育支援室（担当：川井）までお問い合わせください。



おすすめ絵本の紹介

小児科部長 根本 妙

「ものぐさトミー」

ベーン・デュボア 文・絵

松岡 享子 訳

寒い朝、「起きたくないなあ。支度もめんどう！」と感じた時に、私が思い出す絵本です。びっくりするほど怠け者の「トミー・ナマケンボ」は、起きる、お風呂に入る、服を着る、ごはんを食べるなど、生活のほとんどを自動でやってもらえる機械じかけの家に住んでいます。ところが、ある嵐の日に停電が起き、大騒動になってしまいます。その様子がなんともおかしくて、子どもの頃に何度も読んで大笑いした大好きな絵本です。

AIやロボットで便利になった今、大人にも、「あえて自分でやることの意味」や「生きるって何だろう」と考えさせてくれる一冊です。



はまぐみ給食のレシピ紹介

「野菜嫌いで…」「野菜を食べなくて困る」といったお声を聞きします。

はまぐみの給食は野菜がたくさん使われています。皆さんに人気の副菜をご紹介します。



なすのいため煮



◆材料（1人分）※大人の分量です。

- ・なす 45g
- ・ピーマン 12g
- ・たまねぎ 12g
- ・ささみフレーク 12g
- ・油 小さじ1
- ・醤油 小さじ1/2
- ・砂糖 小さじ1/3
- ・酒 小さじ1/2

お好みでごま油にしても good

◆作り方

- ① なすは皮をむいて5mm程度のいちょう切り、ピーマンと玉ねぎは2～3mm幅にスライスする。
- ② 油をひいた鍋になすを入れて少し炒める。そこにピーマンとたまねぎを入れてさらに炒める。
- ③ 野菜がしんなりしてきたら、ひたひたまで水をはり、ささみフレークを入れ、やわらかくなるまで煮る。
- ④ 野菜がやわらかくなったら、調味料を入れてさらに煮込む。
- ⑤ 野菜に味がしみ込んだらできあがり♪

療育の場での勤務は初めてであり、日々戸惑うことも多いのですが、皆様にご指導いただきながら新しい環境に早く慣れ、お役に立てるよう努めます。

病棟 看護師長 松井 園子
このたび、県立がんセンター新潟病院より転入しました松井園子と申します。

リハビリ主査（言語聴覚士）堀本 万貴子
2年ぶりに再び勤務することになりました。再びお子さんたちにかかわる機会をいただき、うれしく思っております。久々の経験、初めての出来事に毎日緊張感でいっぱいです。学ぶ姿勢を忘れずに、お子さんたち、ご家族の皆様の笑顔を支えることができるよう努力していきます。どうぞよろしく願っています。

庶務課 主査 中村 敦子
はじめまして。4月から庶務課で勤務しております。中村と申します。福祉の職場は二十数年ぶりとなり、初めて聞く言葉も多く、この数か月は慌ただしく過ごしてまいりました。利用者の皆様と直接お会いする機会はありませんが、少しでも皆様のお役に立てるように努めてまいります。よろしく願っています。

どうぞよろしく願っています
新任職員御挨拶

めてまいりたいと考えております。
また、一つ一つ立ち止まって考えながら、入所者の皆様により安心して過ごしていただけるような療育の場となるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

病棟 主任看護師 目黒 陽子
初めまして、コロナーにいがた白岩の里から異動してまいりました目黒です。

今までは高齢者と接することが多く、小児と接する機会が少なく、全く経験したことのないことばかりで毎日戸惑ってばかりです。子供たちはとてもかわいくやされることが多くあります。子育ての経験を活かしながら日々楽しく看護をしております。療育について学びながらゆっくり慣れていこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。

外来 看護副師長 五十嵐 正昭
はじめまして、コロナーにいがた白岩の里から異動してまいりました五十嵐です。

まだまだ業務の流れに乗れず、戸惑いの多い毎日です。スタッフの協力を得ながら、皆様には「安全・安楽な看護実践」に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

療育支援室 室長代理 稲垣 俊介

4月に転入してきました。主に入所と短期入所の窓口を担当しています。医療と福祉の様々な職種が協力して利用者の方と関わるこの意味を感じながら日々勤務しています。皆様に安心してご利用いただけるように尽力したいと思っております。よろしく申し上げます。

療育支援室 主任 川井 詩織

中央福祉相談センターから異動して参りました。療育支援室で、主に相談業務を担当させていただいています。はまぐみでの勤務、相談業務ともに初めての経験です。周りの方に教えていただきながら、利用される皆様に少しでも安心していただけるよう、精一杯取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

療育支援室 主任 樋山 麻優子

4月からお世話になっております。療育支援室で、発達障がい者支援センターR.I.S.Eの業務を担当しております。まだまだ分からないことも多いですが、皆様が日々を安心して過ごせるよう、学びながら取り組んでおります。相談を伺う中で気づかされることも多く、その気づきを大切にしながら、これからも皆様に寄り添い、力になれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

あすか 主任 相模 真奈

4月からあすかに参りました。初めて経験することも多く至らないことばかりですが、あすかの皆様の元気な笑顔にいつも沢山のエネルギーをいただきます。ながら勤務しております。皆様が健康で穏やかに過ごせるよう、あすかが安心して過ごせる場となるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

通所 児童指導員 白倉 未唯

4月から通所勤務となりました白倉です。初めての勤務で緊張もありますが、お子さんの笑顔や頑張りにより日々励まされています。お子さん一人ひとりのペースや思いを大切に、安心して過ごせる関わりを心がけてまいります。ご家族の皆様とともに遊びや日々の関わりを通して成長を支えられるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

通所 児童指導員 渡邊 真衣

はじめまして。4月から通所で勤務している渡邊と申します。私自身職員としてまだまだ未熟ながらも、経験ある職員の方から教わりながら利用者さんとの関わりを日々楽しみにしています。みなさまにとって安心できる居場所を作れるよう、引き続き精進してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

「第三者委員会」を開催しました

令和8年3月2日(月)に「令和7年度苦情解決及び障がい者虐待防止第三者委員会」を開催しました。佐藤和子委員、藤瀬竜子委員に出席いただき、令和7年度に御利用者様から寄せられた意見とその対応及び当センターの虐待防止対策の取組状況を報告しました。

委員からは、「御利用者様からいただいた意見を活かし、たとえささやかなことでも気持ちよく利用していただけるように工夫をしていくことが大切である」、「日頃の業務の中で気づいたことを話し合える風通しのよい職場づくりが大事である」等の意見をいただきました。

委員からいただいた意見を踏まえ、安心して気持ちよく当センターを利用していただけるよう引き続き努めてまいります。

